



# 西中学校通信 第19号

自主的に考え、正しく行動できる生徒 <自立と自律>

## 終わり方

- 「立つ鳥跡を濁さず」・・・立ち去る者は見苦しくないように、きれいに始末していくべき
- 「有終の美を飾る」・・・最後までやり遂げ、立派な成果を上げること
- 「画竜点睛を欠く」・・・物事を立派に完成させるための最後の仕上げを忘れてしまったこと
- 「竜頭蛇尾」・・・はじめは勢いがいいが、終わりはまったくふるわないこと
- 「慎始敬終」・・・始まりを慎み、終わりを敬う。初めから終わりまで気を抜かないこと

日本語には、「終わり」に関する多くのことわざや慣用句、四字熟語が存在します。  
いかに日本人が「終わり」を重視してきたかがわかります。

私も「終わり方」を大切に考えているひとりです。  
生徒の皆さんや先生方にも「終わり方」を大切にしてほしいと思っています。

「終わり方」を大切にしてほしい理由は、大きく二つあります。

ひとつは、相手に対する配慮・感謝・礼儀にかかわることです。

この学校や学年、クラスの一員として、お互いに影響し合って過ごしてきたはずです。  
自分一人の力で進んできたと考えるのは、あまりにも自分勝手な考え方です。自分に関わってくれた周囲への敬意や感謝、そして、自分が去った後に、新しく入って来る人への敬意を表すものと考えています。

二つ目の理由は、自分自身にかかわることです。

終わりは、次のステージの始まりだと言えます。新しい始まりに対して、前向きに、意欲的にスタートするための準備が、「終わり方」だと考えます。

「もう終わりだからどうでもよい」と考える人は、きっと、どんなステージ、どんな場所での終わりも大切にできないのではないかと思います。

人の考え方の根はつながっているので、「終わり方」が大切にできない人は、「始め方」や「途中経過（プロセス）」も大切にできないのではないかと思います。

3年生は、あと2週間で卒業です。

1・2年生は、3週間余りで進級し、新入生を迎え入れます。

次のステージに期待をするなら、今の「終わり方」を大切にすべきです。

## 西中生の活躍

### ○埼玉県児童生徒美術展

特選 1年生 1名  
特選 3年生 1名

### ○入間地区児童生徒美術展

特選 1年生 1名  
2年生 3名  
3年生 4名  
入選 1年生 9名  
2年生 21名  
3年生 8名

### ○狭山市児童生徒美術展

佳作 2年生 19名

### ○全国教育美術展

佳作 1名

### ○狭山市こども写真コンテスト

入選 1名

## 西中教員の活躍

本校教員が所属する社会人のバスケットボールチームが、2月に、福井県で行われた「第5回 全日本社会人バスケットボール選手権大会」に出場し、見事に優勝しました。埼玉県予選及び関東大会を優勝し出場したこの大会で日本一となりました。

●●先生は、このチームの選手であり、監督も務めています。おめでとうございます。